

林業成長産業化総合対策のうち

木材産業・木造建築活性化対策（拡充）

【平成31年度予算概算決定額 1,247,157（1,087,413）千円】

- <対策のポイント>
- 木材需要の拡大を図るため、低層建築物を中心とした無垢構造材の利用拡大、中高層建築物を中心としたCLT等の新たな木質建築部材の利用促進・定着、顔の見える木材での快適空間づくり等を支援します。また、効率的なサプライチェーンの構築に向けた需給情報の共有やマッチングの取組を推進します。
- <政策目標>
- 国産材の供給・利用量の増加（（30百万m³ [平成29年] → 40百万m³ [平成37年まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 低層建築物を中心とした無垢構造材等利用拡大事業325,985千円
- 非住宅分野の建築物におけるJAS構造材の利用拡大、横架材・2x4部材等の製品・技術開発を支援します。
2. 中高層建築物を中心としたCLT等新たな木質建築部材利用促進・定着事業652,417千円
- ① CLT等建築物の普及・拡大
- CLTを用いた先駆的な建築物の設計・建築等の実証、中高層建築物等におけるCLT等の利用拡大、設計者・施工者等の育成、BIM（3次元の建築モデルをコンピューター上で構築するシステム）を活用できる環境整備等を支援します。
- ② 新たな製品・技術の開発
- CLT等新たな建築部材の利用促進に向けた構造設計手法や部材の標準化に必要なデータ収集、CLT・木質耐火部材等の製品・技術開発等を支援します。
3. 顔の見える木材での快適空間づくり事業48,902千円
- A材丸太を原材料とする構造材、内装材、家具、建具等の普及啓発などにより川上から川下までの事業者の連携の促進に対して支援します。
4. 生産流通構造改革促進事業219,853千円
- SCM推進フォーラム（協議会）の設置・運営による川上から川下までのマッチングの取組や、需給情報共有のためのデータベース整備等を支援します。また、木材加工設備等導入の利子助成・リース、森林認証材の普及啓発等の取組を支援します。

